

28歳女子、ハロワデビュー。

数寄屋 入鹿

履歴書

年 月 日現在

ふりがな				
氏 名				
生年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日生 (満 歳)	※ 男 ・ 女		
携帯電話番号		E-MAIL		
ふりがな			電話 ()	-
現住所〒			FAX ()	
ふりがな			電話 ()	-
連絡先〒 (現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入)			FAX ()	

年	月	学歴・職歴 (各項目ごとにまとめて書く)
		学 歴

はじめてのハローワーク

転職活動は今回で3度目。
だけどハローワークに行くのは今回がはじめて。

今までは自己都合による退職で、退職時にすでに次の勤務先が決まっていたり、すぐに働かなくてもよい状況だったりしたので、ハローワークへ行く機会もなかったが、今回は会社都合による退職、それも結構急な話だったので、とりあえず失業保険をもらわなきゃ、早く職を見つけなきゃと、慌ただしくハローワークへ足を運ぶことになった。

私が住んでいる地域はハローワーク池袋の管轄で、ハローワーク池袋はどこにあるかということ、サンシャインシティの中にある。水族館やプラネタリウムと同じ場所に職安ってどうなんだろう……。まあそのおかげで、いかにもハローワークに行きますって感じじゃなくていいけど。

さて、ハロワデビューとなる第1回目は雇用保険受給の手続き。まずはもらえるもんもらわないと。

担当の方は事務処理を淡々とこなしつつ丁寧に指導してくれる。この人はきつとこの作業を何千、何万回と繰り返しているのだろう。もう処理スピードの記録更新には興味がなく、後はどれだけ丁寧に対応できるかをやりがいに行っている。そんな雰囲気。

その人に限らずハローワーク池袋の職員さんは皆とても親切で、とりあえず何でも訊いてみようと思わせてくれる。他のハローワークは行ったことがないのでわからないけど、どこも同じ感じだとい。

この日は申請に来ている人も少なく、ハロワデビューはあっさり終わった。



マメハロワ＊雇用保険受給の手続き

雇用保険受給の手続きには必要な書類がいろいろとあります。

- ・雇用保険被保険者離職票1（辞めた会社からもらうもの）
- ・雇用保険被保険者離職票2（辞めた会社からもらうもの）
- ・雇用保険被保険者証（辞めた会社からもらうもの）
- ・本人確認できるもの
運転免許証、住民基本台帳カード（写真付）など。
※パスポートの場合は住民票の提出も求められます。
- ・写真（たて3cm×よこ2.5cmの正面上半身のもの、かつ3ヶ月以内に撮影したもの）2枚
- ・印鑑
- ・本人名義の普通預金通帳（郵便局含む、ネット銀行は不可）

上記のうち、住民票や写真の場合は不備があっても説明会の時に用意しておけば問題ないようです。

他の物に関してはわかりませんが、もし忘れた場合は出直す前に一度職員の方に声をかけてみた方がよいでしょう。



ハローワークの雰囲気

2度目のハローワーク。

今回は雇用保険説明会のためにハローワークを訪れる。ついでに求人応募に必要な紹介状も出してもらうため、説明会時刻の午後2時にはまだまだ早いお昼過ぎに到着。

まず求人検索端末で希望する求人票をプリントアウトする。それを「相談・紹介コーナー」で担当者に渡し紹介状をもらう。その紹介状を履歴書と一緒に企業へ郵送する。というのが応募までの一連の流れ。

相談コーナーは、マザーズコーナーなるものもあるが、大きくは34歳以下のヤングコーナーとその他に分かれている。私は比較的童顔のため何も訊かれることなくヤング番号札を手渡される。老けている人は毎回年齢を確認されるのかと思うと面倒だろう。確認されずに問答無用で35歳以上に振り分けられる人はもっと気の毒だ。

そしてこのコーナーは待ち時間が長い。とにかく待つ。1時間は待つ。みんなこの間どうして過ごしているのか気になる。

年配の方々には、焦燥感や悲愴感はとくになく（まあ表には出さないだろうけど）、銀行で窓口の順番を待つような淡々とした空気がある。何度も通っているのだろう。文庫本を取り出して読書に勤しんでいる人が多い。

若年層はというと、ぼーっとしていたり、携帯をいじったり、カバンからおもむろにゲーム機を取り出して夢中になる人もいる。その間、私は1人キョロキョロ周りを見ていた。大丈夫か？

衝撃的な出来事もあった。

私のななめ前に座った男性が、80年代の日本の話だとか、順番がなかなか回ってこないことへの文句だとかをボリュームマックスなひとり言にのせだした。周りはもちろん怪訝な表情。私も近くにいて大丈夫かと考えていた矢先、1人の若い男性が近づいてきて彼の胸ぐらをつかんだ。

「てめー、さっきからブツブツうるせえんだよ！」
ひええええ・・・とおののいていると、今度は私の横に座っていた男性が立ち上がり、
「やめてください」

と仲裁に入った。その男性が出てきたおかげで大きな騒ぎにならずに事態は収まったのだが、私の始まったばかりのハローワーク生活に恐怖心を植えつける出来事になった。



余談だがそのひとり言の彼、仲裁に入ってくれた男性にとっても丁寧にお礼を言っていた。自分の順番が回ってきた際も、お辞儀をしてからその場を離れた。周りに迷惑をかけていることには無頓着だった彼も、助けてもらったことにはきちんと感謝できるという事実、なんだか不思議。常識があるのかないかわからない。でもまあ、感謝できるということは素敵なことだと思う。

ようやく順番が回って来て、席につくと、担当者が何かを差し出してきた。彼らは毎回「今回の担当は〇〇です」という名刺を渡すのが決まりらしい。紙の無駄遣いでは？とも思うが、名前を名乗るだけでも書いてあるだけでもなく、この名刺渡すという行為のおかげで彼らは求職者たちに親切にせざるをえないんじゃないかという気がする。

担当者は求人票を受けとり、その求人に対して紹介状を出してもらっている人数や、不採用になった人数などのデータを出す。その上で、応募の意思を確認してくる。もちろん何人応募しているかがやってみるしかないのだが、中には、複数職種の求人を出し、ハローワークからは千人以上へ紹介状を発行しているにもかかわらず、1人も採用に至っていないという恐ろしい企業もある。

その日は3社への紹介状を出してもらい、その後説明会へ臨んだ。

肝心の説明会はというと、参加者の中に母子がいて、その赤ちゃんの泣き声で集中力を失い（言い訳）、出席したという満足感だけ持って帰ることにした。

マメハロワ*ハロワでの服装

ラクな格好で行きましょう。

なかには寝間着か？寝起きか？というような方もいます。

さすがにビビりますが、職員含め周りにはあまり気にしていません。

昔はすぐに面接に入る可能性があって、スーツなら対応できるということだったのですが、最近では、まず履歴書の送付ありきななので、ハローワークへは普段着で全然問題ないと思います。

ちなみに、その日のうちに面接になるかはわかりませんが、介護関係や建設関係は最初から面接というところもあるようです。



ハローワークの楽しみ方

2度目からほとんど日にちを空けず、求人検索と紹介状発行のためハローワークへ。

自分の番を待っている人たちを見るもの面白いが、相談コーナーでの求職者と職員さんのやりとりも見ていて飽きない。

机に肘をつきながら担当者とフランクに話す女性や、とにかく自分の就きたい職種に関して大きな声で訴える女性など様々だ。職員さんが熱心に話しすぎて求職者が少し引いているブースもあった。

そんな中で、帰り際に挨拶もせず席を立つ男性を発見した。おいおい、それはないだろ。担当の方は深々と頭を下げているのではないか。見ていて悲しい。お前は就職できないぞ！と言いたくなる。

帰ってゆく礼儀知らずの若者を見送っていたら、私の番号がアナウンスされた。こちらですと手をあげたのは無礼者を担当していた方だった。よし、挨拶とお礼は2倍しよう。

ところで、ハローワークのカレンダーに赤ボールペンで「T.K.」と書かれた日が2日間あった。9月は8日と15日。あれは一体なにを指しているんだろう。知ってる人がいたら教えてほしい・・・。



そんな感じでハローワークにもいろいろな楽しみ方があることに気づいた今日この頃。

マメハロワ*求人検索

ハローワークには求人検索用の端末がわんさかあります。
なかでも池袋は都内で一番その数が多いらしい。

もちろん[ハローワークインターネットサービス](#)を利用して自宅でも検索はできますが、ネットでは情報掲載をしない企業もあるので、インターネットで閲覧可能なのは求人登録されたうちの8割程度だそうです。さらにネットでは社名をふせている会社も多いので、時間に余裕があるならハローワークへ行って調べるのが一番良いかと思います。

どのみち希望する求人が見つければ紹介状をもらいに行かないといけませんね。

